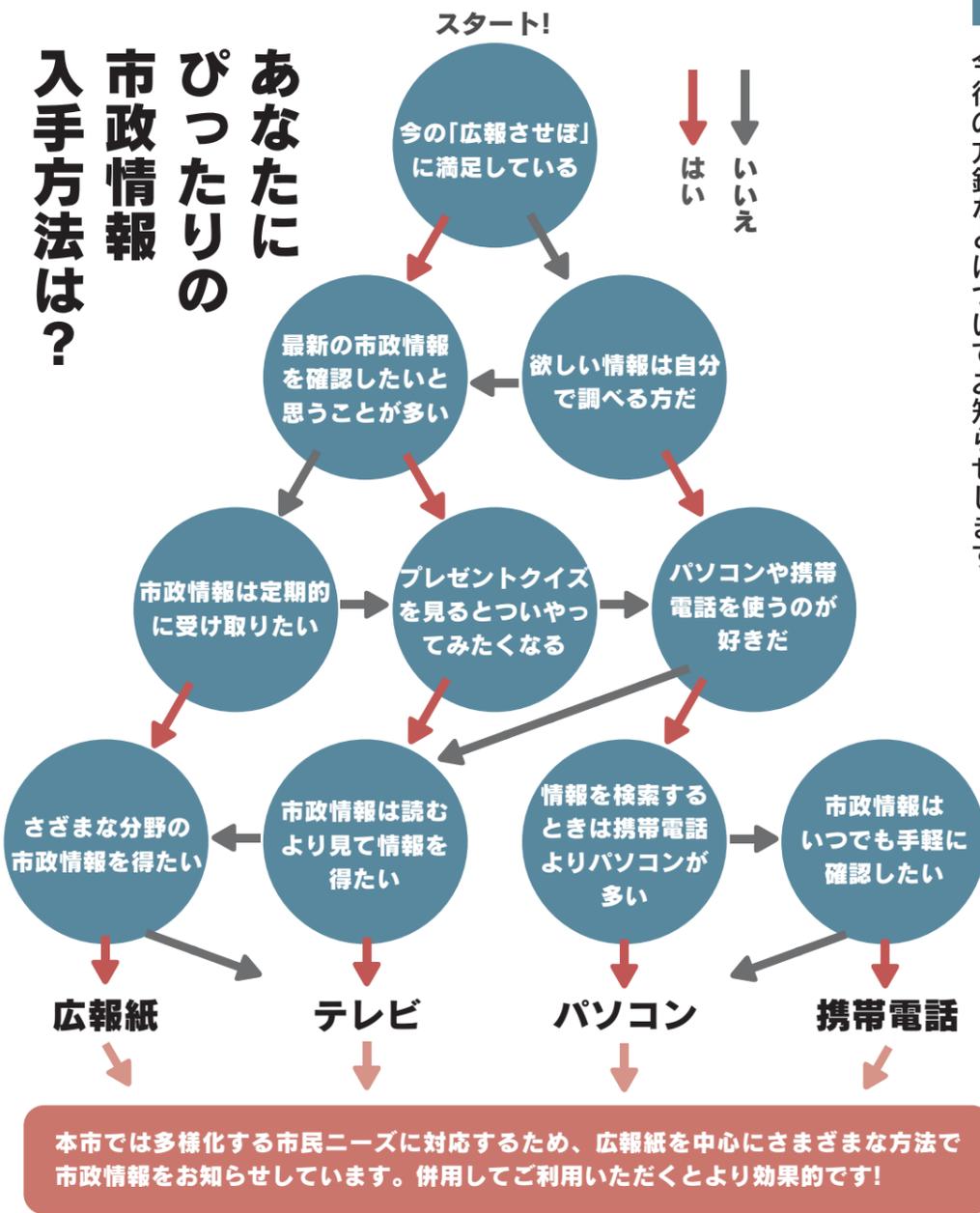


皆さんのニーズに合った情報発信を

テレビやインターネット、携帯電話などの普及とともに、情報を受け取る人のニーズも多様化し、市政情報もさまざまな方法で発信するようになりました。今回はその特徴や今後の方針などについてお知らせします。



それぞれどんな違いがあるの？



広報紙

情報量 ★★★★★
即時性 ★★★★★
手軽さ ★★★★★
プレゼントクイズ あり

毎月発行している市政情報紙「広報させぼ」は、市政の総合情報紙として、内容も多岐にわたり、情報量も豊富。じっくり読みたい人から要点だけ知りたい人までさまざまな人にお薦めです。原稿締め切り(発行日の約40日前)後の情報や緊急性が高いものなどはテレビやインターネットを通して情報発信しています。

テレビ



情報量 ★
即時性 ★★★★★
手軽さ ★★★★★
プレゼントクイズ あり

毎週土曜日に民放4局で放送している「させぼ市政だより」。タイムリーな情報や広報紙の掲載に間に合わなかったものなどを5分間にまとめています。市長が出演する特別編では、市政の旬な話題を映像で分かりやすく楽しくお知らせしています。素敵な賞品が当たるプレゼントクイズの応募数は、広報紙より少ないことが多いため、一度挑戦してみてくださいは…!

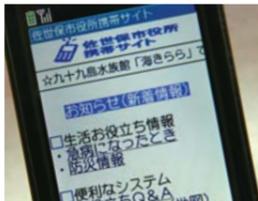
パソコン



情報量 ★★★★★
即時性 ★★★★★
手軽さ ★★
プレゼントクイズ なし

各課でページを更新できる市ホームページは、情報の新しさと豊富さが魅力。時間にとらわれず、自分に必要な情報は自分で探したいという人にぴったりです。誰でも扱いやすいように、昨年4月にデザインや機能を一新し、より情報が探しやすいようになっています。災害発生時には、トップページ左上に緊急情報を掲載し、お知らせしています。

携帯電話



情報量 ★★
即時性 ★★★★★
手軽さ ★★★★★
プレゼントクイズ なし

携帯電話の魅力は何といっても手軽さ。インターネットが利用できる携帯電話があれば、いつでもどこでも市政情報が入手できます。各課で随時更新しているため情報も最新。手軽に、いつでも市政情報を入れたいという人向きです。公共施設予約サービスやさせぼ街ナビなど、パソコンと同様にさまざまな便利な機能が使えます。

昭和26年

広報の歩み 広報紙による広報

朝鮮戦争がほつ発した翌年の昭和26年4月、本市では市民の皆さんに市政をさらに理解していただくため「させぼ市政だより」(昭和63年1月号から広報させぼ)を創刊しました。創刊号はタブロイド版(一面の大きさが現在の約2倍)で4ページ、当時流行していた狂天病被害を大きく特集しました。創刊以来58年間、市政広報の中心的な役割を担い、増ページやフルカラー化、編集を独自で行うDTP化などに取り組んできた広報紙も本号で通算第707号となりました。市内の史跡などを紹介する「歴史散歩」は昭和40年2月から連載を続けており、今でも人気のコーナーです。

昭和34年

テレビによる広報

昭和34年、NBC佐世保テレビジョン局(現長崎放送株式会社佐世保支社)が開局し、本市ではテレビによる広報番組「させぼ市政だより」の放送を開始しました。当時、市内のテレビの普及率はまだ約4%で、相撲や野球中継の時などは、電気店の店先に人だかりのする光景があちこちで見られたそうです。以降、普及率も昭和44年までには80%を超え、本市では県内の新しい放送局の開局に合わせ、順次広報番組の放送を開始しています(本紙裏表紙参照)。平成18年、本市では市長自ら出演し、市が取り組む重点施策などを映像でお知らせする「市政だより特別編」の放送を開始しました。1テーマを5分間という短い時間にまとめてお伝えする番組作りは分かりやすく、親しみやすいと視聴者の皆さんから好評を得ています。番組は従来の放送枠を活用し、

平成8年

パソコンによる広報

即時性が高く、全世界へつながるインターネット。その普及率がまだ10%未満だった平成8年、本市では「佐世保市ホームページ」を初めて開設しました。当時の仕組みでは、ページを更新することも難しく、情報量も少ないものでした。

以降、インターネットの急速な普及とともに、ホームページの充実を望む声も大きくなり、本市では各担当課の職員がページを更新する仕組みを導入し、平成14年に大幅な変更を実施。情報の新しさや量などの面で広報紙を補完し、佐世保のさまざまな情報を広く発信することが可能になりました。昨年4月にデザインや機能を一新し、さらに情報が検索しやすくなり、便利な機能も追加しています。

平成18年

携帯電話による広報

平成6年の全国における携帯電話(PHS含む)の普及率は約3%。その後急速に普及し、同12年には50%を超えました。本市が「佐世保市役所携帯サイト」を開発したのは、普及率が約80%となった平成18年です。パソコンよりも身近な携帯電話を通して情報発信により、市政情報が手軽に確認できるようになりました。本サイトでは、急病になったときの救急医療情報や子育て支援など生活に直接役立つ情報を中心に発信しています。

本市ではこのほかラジオや新聞、各担当課が作成する折り込みチラシや冊子など、可能な限りさまざまな媒体を使って市政情報の提供に努めています。